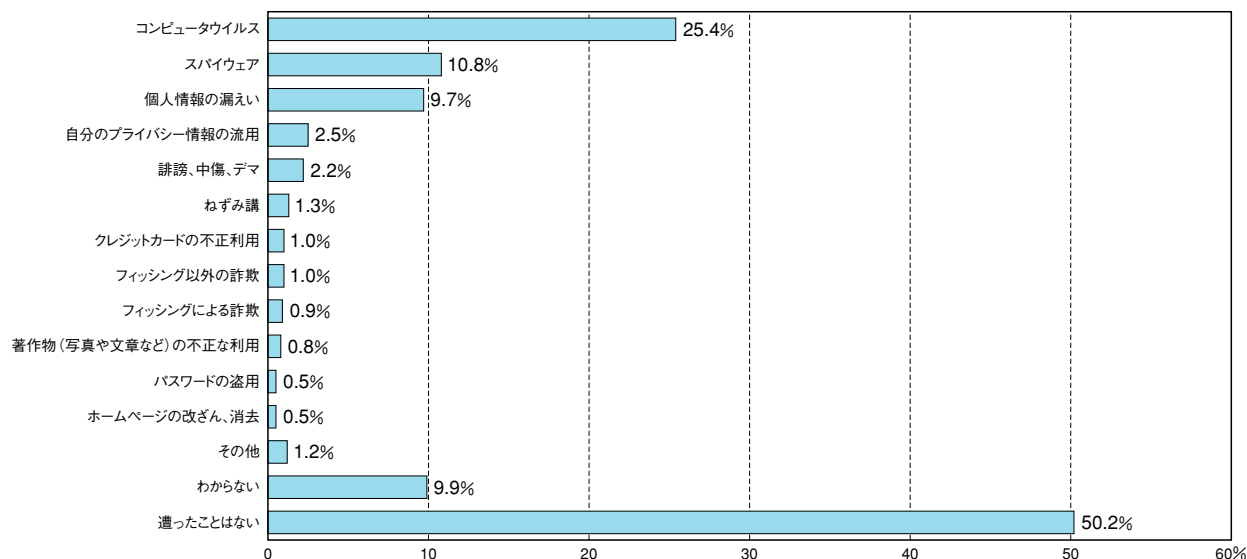


被害経験/セキュリティ対策

4割が迷惑行為の被害経験あり

資料2-11-3 迷惑行為の被害経験（複数回答） N=2,000

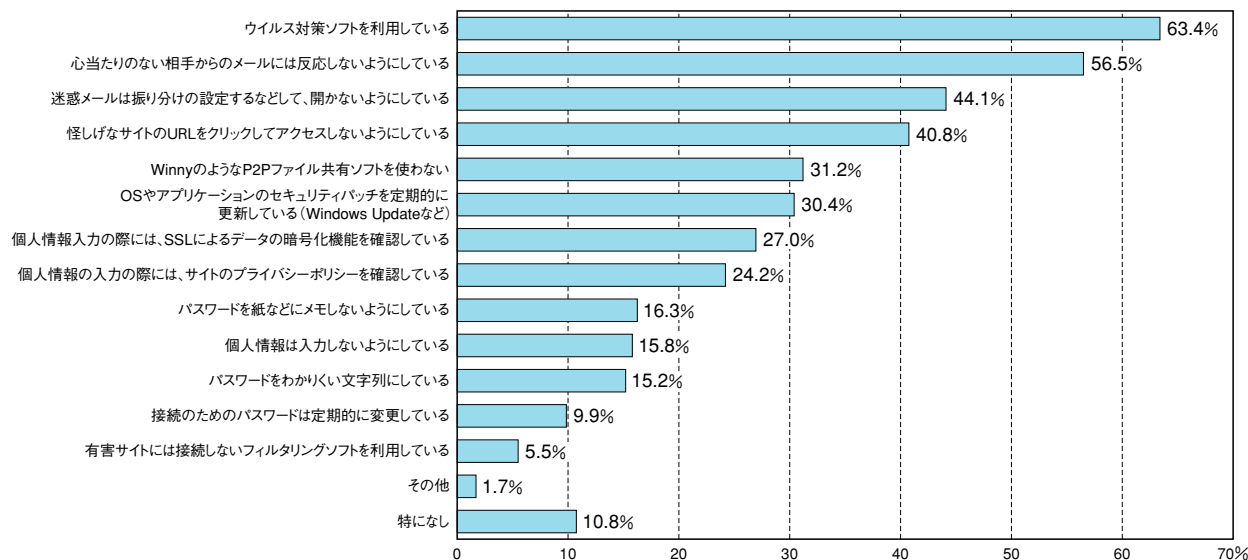


©impress R&D,2007

迷惑行為の被害経験をみると、「遭ったことはない」が50.2%と半数である。被害経験では、「コンピュータウイルス」が25.4%で最も高く、「スパイウェア」が10.8%、「個人情報の漏えい」が9.7%と続く。その他の項目による被害経験は数%程度に限られているが、利用者が気付かない脅威も増えていることが指摘されており、セキュリティ対策や日頃の注意が重要である。

9割の利用者が何らかのセキュリティ対策を実施

資料2-11-4 個人のセキュリティ対策（複数回答） N=2,000



©impress R&D,2007

個人のセキュリティ対策の状況をみると、「特になし」は10.8%にすぎず、9割の利用者が何らかのセキュリティ対策を行っている。対策で最も高いのは「ウイルス対策ソフトを利用している」の63.4%であるが、出回り始めた少数のウイルスなどには対処できない場合もあり、あやしいメールを開かないことや、電子署名の活用など、複数の対策を心がけることが重要である。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp